

連合北海道 第27回年次大会を開催

連合北海道は10月29日、第27回年次大会を開催し、第13期後半に向けた運動方針の補強・強化や来春実施される統一自治体選挙に勝利し、道政奪還を図る闘争方針を全代議員・特別代議員によって確認されました。



本大会は初めに、9月13日に逝去されました元連合北海道副会長 小澤 修二様に黙祷を捧げた後、執行部を代表して工藤会長の挨拶で始まりました。



工藤会長の挨拶は、①労働者保護ルール改悪阻止に向けた運動を、総力を挙げて展開する、②2015春季生活闘争は、日本の将来を左右する起点・分水嶺であると位置づけ、月例賃金の引き上げに取り組む、③第18回統一自治体選挙の取り組みと政治活動の強化、の3点について行われ、統一自治体選挙については、遅れている知事候補擁立に向けて全力で取り組むとしました。

最後に、「来春の統一自治体選挙そして来る国政選挙に（質問に立つ北教組川端代議員） 向けて、『自らの足元』である組合員や家族、生活者・働く者の視点に立った政治勢力の再構築に向けた活動に取り組む必要がある」「地域において連合の主張を訴え続け、世論喚起、社会的ウネリを築くためにも産別・単組、地協・地区連合の協力をお願いする」として、挨拶を終えました。

本大会も、連合本部、北海道、札幌市、民主党、労働福祉事業団体等々から多くの来賓がご出席賜り、ご挨拶をいただきました。



その後、昨年の定期大会で提起した運動方針を補強する活動方針、2015春季生活闘争の基本構想や第18回統一自治体選挙闘争方針など全9本の議案が執行部から提起され、それぞれの議案について質疑が行われ、すべての議案が執行部提案どおり確認され、産別での役員交代により、連合北海道執行役員の一部補充選挙も行われ、第13期後期の役員体制が確認されました。

（秋元札幌市長選候補予定者）



（高校生平和大使）

更に、来春の道議選・札幌市長選・札幌市議選での連合北海道推薦候補予定者が紹介され、激励が行われました。

また、連合北海道と退職者連合が協力して高校生平和大使の取り組みを行っていますが、今年度の高校生平和大使が大会に出席し、国連訪問を中心にこれまでの活動の報告を行い、平和社会実現に向けた運動の重要性を大会参加者に強く訴え、共感を得ていました。

連合北海道は、統一自治体選挙勝利、格差是正、暮らしの底上げ実現に向け、新しい執行部体制のもと全組合員参加による運動を展開していきます。

本大会において発言された産別・地協は、

J R総連（笹森代議員）／U Aゼンセン（荻野代議員）／自治労（山木代議員、）／
北教組（川端代議員）／石狩地協（太田特別代議員）／上川地協（三村特別代議員）／
後志地協（石川特別代議員）／十勝地協（田中特別代議員）／釧根地協（赤田特別代議員）